

知事： 本日、実際に作業現場を見せていただいて、おいしいお昼を食べさせていただき、そして今お話を伺ったわけです。私が横島に来るのは2回目です。1回目は選挙のときでしたから回って通り過ぎただけで、正直なところ全く余裕がありませんでした。しかし、今日はゆっくりとお話を伺い、見させていただいて、本当に素晴らしいと思いました。ずっとメモをしていたんですが、本当に多様な資源を持っておられます。恐らく昔からあったのではなく、皆さんが地域おこしという観点からどんどん開発をしていかれたのだと思います。ミシマサイコ、山椒、それから、当然お米があります。ピーマン、ニラもあります。お茶の体験があります。アメゴの養殖があります。お芋があります。それからお昼には山菜、いたどり、キジの卵、トマト、アスパラを食べさせていただきました。

今、中山間地域対策といった時に、例えば農業にしても高知型集落営農と言いまして、1個の品物だけでは中山間地域は狭いので、現金収入として成り立っていかないのではないかというのが一つ。それから地理的に不利なところが多いので、比較的軽い作業で、かつ取れたものが高く売れるものをたくさん植えて、年に何回も現金収入が入っていく地域の農業を目指していこうと、県内全体で取り組みを進めています。ですが、なかなか地域の合意が得られなかったり、そんなに簡単には取り組みが進んでいないです。私は今ここに理想の姿を見たと言いますか、比較的軽くて単価が高くて、しかもいろいろな作物を植えておられるので、年に何回か現金収入が出てくる、これは底力のある地域だなと思いました。加えて、それを観光に生かそうという視点を持っておられて、しかも十分に生かしきっています。例えばお茶にしても、それからお芋を植える体験農業をやったり、地域外の皆さんに体験をしてもらうことにすごく力を入れておられる。

中山間地域、限界集落、田舎というどうしても内にこもりがちになりますが、だからこそ外に打って出る強さと言いますか、観光で言えば、外から人を引っ張ってくる力、それがぜひとも必要だと思っています。交流人口拡大のため、しかも自然とさまざまな体験農業などを生かして、強みを生かした形での観光振興を図っており、本当に素晴らしいです。中山間地域の今後の大きなモデルになるのではないかと思ったところです。